

2 春のフラワー・ハイキング 9日間

スイス・インターナショナルエアラインズ直行便利用



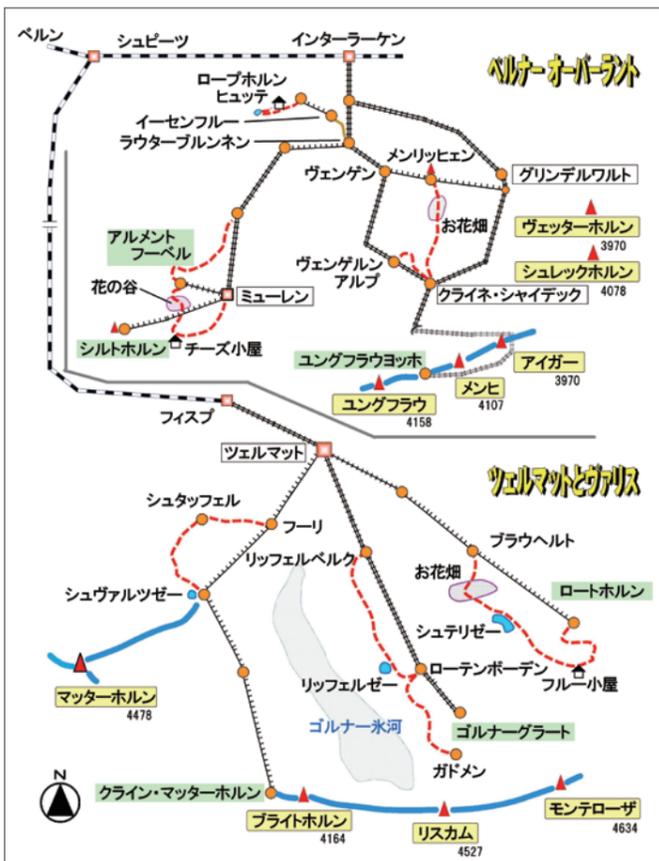
ロープホルンヒュッテ

- ◇初めてのの方はまずここ！スイスを代表する山、アイガー、メンヒ、ユングフラウとマッターホルンの眺望コース
- ◇アルプ(牧草地)の花が満開の季節 キンポウゲやトロールフルーメの咲き乱れる季節 ロープホルン・ヒュッテへ
- ◇ミュレン&ツェルマットに各3連泊！ ゆったりとした日程で無理なくハイキングを堪能します

出発日	旅行代金
6/25(木) 直行便	¥472,000

※燃油付加運賃28,400円、現地空港税6,130円、空港施設使用料・保安料2,660円(成田)、3,100円(関空)国際観光旅客税1,000円 が必要です。(変動あり)

- 定員/12名定員(最低実施人員6名) ■ 締め切り/5月25日(月)
- 出発空港/成田空港・関西空港 ■ 1人部屋追加料金/¥64,000
- 健脚度/ 初心者の方やご家族でも安心してあるけます。平坦な道を1~3時間程度。
- 添乗員/初日のチューリッヒ空港から帰国日のチューリッヒ空港まで同行



グリンデルワルト(1034m)



アイガーとヴェッターホルンを眼前にして、2つの氷河が迫りくるアルプスの村グリンデルワルト。ユングフラウ地方を観光する拠点として人気。この小さな村を訪れる観光客は年間100万人以上。古くから多くの日本人に愛されてきた村で電車を降りるとすぐに「日本語観光案内所」の看板を目にする。今日も、アイガー北壁登頂の拠点となっている。



ミュレンの町並み

旅程表

日次	都 市	時刻	摘 要	食事
6月25日(木)	成田・関空発 チューリッヒ着 グリンデルワルト着	午前 夕刻 夜	空路 直行便利用でチューリッヒへ【時差：7時間/所要時間：約12時間】 列車でユングフラウ地方、アイガーの町グリンデルワルトへ(約3時間) ホテル着 グリンデルワルト泊	機 機 ×
6月26日(金)	グリンデルワルト クライネシャイデック ミュレン着	午前 午後	登山列車でベルナー・オーバーラントの中心地、クライネシャイデックへ 逆さアイガーの映る人口湖まで足慣らしのハイキング *希望者はユングフラウヨッホへ(別途費用) グリンデルワルトへ戻り、列車とロープウェイで3名峰の村ミュレンへ ミュレン泊	B ×
6月27日(土)	ミュレン ラウターブルンネン スルワルト	午前 午後	ラウターブルンネンに下り、ミニバスとロープウェイでスルワルトへ ハイキング 【↑↓435m/登り1時間45分、下り1時間15分】 春の花の楽園ロープホルンヒュッテ(1955m)と湖へのハイキング サクラソウや春リンドウなど アイガー(3970m)メンヒ(4107m)ユングフラウ(4158m)の3山の展望 ロープホルンヒュッテで昼食 スルワルトへ戻り、ミニバスとロープウェイでミュレンへ 着後、自由見学 ミュレン泊	B ×
6月28日(日)	ミュレン	午前	ハイキング 【↓267m/2時間30分】 ケーブルカーで展望台アルメントフーベル(1907m)に上り、 花の谷、ノース・フェイストレイル を下りミュレンへと戻るフラワー・ハイキング キンポウゲやアルペンローゼを散策 途中のチーズ小屋で休憩します 午後、自由見学 ミュレン泊	B ×
6月29日(月)	ミュレン ラウターブルンネン インターラーケン フィスプ ツェルマット着	午前 午後	午前、自由見学 *希望者はシルトホルン展望台へご案内します(別途費用) 列車でマッターホルンの麓ツェルマットへ(フィスプ乗り換え) 着後、自由見学(マッターホルン博物館など) ツェルマット泊	B ×
6月30日(火)	ツェルマット	午前	登山列車で展望台ゴルナーグラート(3135m)へ 展望台よりモンテローサ(4634m)リスカム(4527m)ブライトホルン(4160m) マッターホルン(4478m)のパノラマをお楽しみください ハイキング 【↓233m/2時間30分】 一駅下り、ローテンボーデン駅(2815m)から 逆さまッターホルンの湖リッフェルゼー(2756m)〜リッフェルベルク(2582m)へのハイキング *残雪の場合はリッフェルベルクからリッフェルアルプのハイキングに変更 午後、自由見学 ツェルマット泊	B ×
7月1日(水)	ツェルマット	午前	登山列車で展望台シュワルツゼー(2583m)へ マッターホルンに1番近い展望台 顔の黒い羊たちがお出迎え ハイキング 【↓719m/2時間50分】 シュワルツゼーからフリー(1864m)へ下るハイキング 春の花々を散策 午後、自由見学 ツェルマット泊	B ×
7月2日(木)	ツェルマット発 チューリッヒ発	朝 午前	列車でチューリッヒ空港へ(3時間30分) 空路 直行便利用で帰国の途へ【時差：7時間/所要時間：約11時間30分】 (関空出発の方も帰国便は成田空港への帰着となります) 機中泊	サ 機
7月3日(金)	成田空港着	朝	お疲れ様でした! 【旅程表のマーク】：B=朝食、L=昼食、D=夕食、機=機内食、サ=サンドイッチなどのお弁当 【利用予定航空会社】：スイス・インターナショナル・エアラインズ 【利用予定ホテル】：<グリンデルワルト>ダービー、セントラルヴォルター <ミュレン>エーデルワイス、アイガー <ツェルマット>アルペンロイヤル、バルナス *または同等ホテル	機

ミュレン(1640m)

スイスのベルナー・オーバーラントにある山村。崖の上に建つように広がる町並みはそれぞれが展望台のようにたまたみ、アイガー、メンヒ、ユングフラウの3山を展望できる絶好のロケーション。村の人口は450人で、ツェルマットよりさらに小さく静かな村といったところ。町中にはスーパー、土産屋がある。リフトやケーブルカーで上ってからハイキングコースは牧歌的で、放牧された牛が寝ころんでいたりする。3山の眺めと花々は雄大さとあたたかさをあわせもつ。



マッターホルンを仰ぎハイキング(ツェルマット)

ツェルマット(1606m)

ツェルマットの町は、ローヌ谷周辺の谷の1つである、マッター・バレーの南端に位置する。スイス最高峰マッターホルンの麓にあり、夏と冬のシーズンには世界中からトレkkerやスキーヤーが集まる。町自体は小さく、1時間程度で十分あるいて楽しめる。街中には登山用品を売る店やスーパーマーケット、お土産屋、教会などがひしめき合っており、夏シーズンには山羊の行列がメインストリートを行進するイベントがある。大気汚染をふせぐために電気自動車以外の乗り入れが禁止されており、騒音もなく、人の集まるエコの町といったところ。教会の奥にたまたまマッターホルンは写真スポット。